令和４年度子ども参画型社会創造支援事業【宮城野区】

田子中生「福田町駅未来構想」

田子市民センター

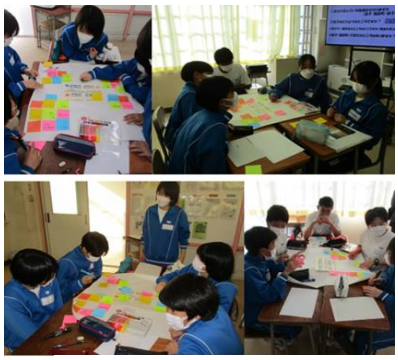
×宮城野区中央市民センター

講座レポートはこちら

１　事業概要

JR 仙石線福田町駅は、現在の駅舎の老朽化とバリアフリーの観点から、令和４年度から JR 福田町駅移設・駅周辺整備計画が決定しました。どのような駅舎ができるかを中学生の視点で考え、新しい福田町駅建設計画に提案し参画をすることで、自分たちの地域の課題に気づき、社会・地域の一員として行動する視点を持つ機会を提供する事業です。

２　令和４年度の活動



課題に取り組む田子中生

「福田町駅移設の経緯について」語る 牛坂氏

田子中学校と共催し、「新しくできる駅舎が『福田町・田子地域の情報発信の場やシンボルとなるように』中学生の皆さんの意見を聞かせてください」との呼びかけで集まった１年生の有志２０人が、田子の地域のことを考え、新しくなる福田町駅を通して未来に向かってまちの将来像を発信しました。

グループワークや福田町駅整備促進協議会の会長牛坂氏の講演を通して、自分たちの地域に対する思いと、課題に対してのアイデアを整理していく作業を経て、地域のために考えることや未来につながる福田町駅への思いなどをまとめていきました。

１「自分たちの住む町（田子・福田町）について」
２「福田町駅に何を」「将来の福田町駅について」
３「福田町駅移設の経緯について」講演
４「具体的な案を出そう」　５発表会にむけての準備　６田子中校内発表会

それぞれのチームが考えた４つの提案は、牛坂氏を通じて仙台市に提案される予定です。提案を受けて牛坂氏から「中学生がどんなことを考えてくれるか楽しみにしていました。福田町駅のことを通して、地域のことを考えられる大人に成長して欲しい」とのコメントを頂きました。

３　成果と課題

１０年後に完成する新しい福田町駅を通して、中学生が未来の地域や、人々に思いを寄せて課題に向き合い、提案する形ではありましたが、社会の一員としてまちづくりに参加する機会を得ることができました。参加した中学生は、自分たちの可能性に気づき、将来、社会や地域で主体的に活躍していこうとする思いを持つことができたようです。福田町駅の移設計画はまだ始まったばかりです。どのような進捗状況であるかを関係各所との連携で把握し、中学生の参画できる講座を展開していく事が課題です。

田子中校内発表会にて福田町駅整備促進協議会会長牛坂 勝氏を通し、提案書を渡しました。

４　今後の展望

JR 福田町駅の移設計画では、デザインの決定から完成まで約 12 年の歳月がかかり、現在の中学生が成人として社会で活躍する年代になっていきます。計画の初期段階の今なら、この「田子中生『福田町駅未来構想』」の事業を通じて、地域の中学生の考えを関係者に聞いてもらうチャンスととらえています。将来の地域のために中学生の柔軟な発想が今後のまちづくりに生かされることが期待されます。